

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 22日

事業所名 エール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		コロナ禍なので、密にならないように部屋を分けて少人数ずつ過ごしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の配置をして、手厚い療育が行えるように努めています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		フロアに段差がなく、スロープや手すりなども適所に設備されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議の場、会議以外の場でも常に子どもたちの様子について話し合いができる環境を作っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		全ての保護者様にアンケート配布し、調査を依頼実施しています。ご意見ご要望の把握に努め、事業所向上に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っていません。今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修、社外研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様、お子様のご要望を尊重し、他機関と連携し支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートは標準化されたものを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で意見交換しながら立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		土日や長期休暇はお子様が必要なように様々なプログラムを考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		全職員で打ち合わせを行い、児童発達支援管理責任者が計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日のミーティングで支援内容や役割分担を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急の場合していますが、基本的に翌日の朝に会議で支援の振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は翌日つけています。記録内容に関しては適宜、管理者が確認しています。	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っています。計画の進捗状況や見直しも職員全員に周知徹底しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		全職員がガイドラインを把握していないので、内容の確認を行います。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事前に全職員で打ち合わせを行い、お子様の日々の状況を丁寧に説明が行えるように児童発達支援管理責任者や精通した職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		対象の児童がいません。必要に応じて行いません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	就学前の様子を保護者様からサポートブックという形で提供してもらっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		必要に応じて行って行きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		課外活動や公園などで交流がありますが、コロナ禍や保護者様が望まないケースもある為、積極的に交流していません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍の為、外部との接触はしていません。状況を見ながら、検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時にお子様の様子を伝え、情報共有理解に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じて提案させていただきます。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に利用契約書・重要事項説明書に沿って説明をし、ご納得いただいたうえで署名捺印を頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍の為、行っていません。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情に対する相談窓口・苦情解決責任者を配置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページにブログを載せて、情報発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		利用契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、ご納得いただいた上で同意書に署名捺印を頂いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや資料の提示などで配慮しています。	お子様の表出を見逃さないように支援に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の為、外部との接触はしていません。状況を見ながら、検討していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38		○	保護者様にマニュアルの周知をしていません。	保護者様からの要望があればお伝えできるようにスタッフ全員に周知徹底していきます。
	39	○		防災センターを訪問し疑似体験をいたり、事業所でも定期的に行っています。	
	40	○			
	41	○			
	42		○		対象の児童がいません。必要に応じて行ないます。
	43	○			